第７２回東海高等学校総合体育大会水泳競技
兼第５８回東海高等学校選手権水泳競技
兼第９３回日本高等学校選手権水泳競技大会東海地区予選会

要　　項

１．主　　催　　（公財）日本水泳連盟、東海高等学校体育連盟
　　　　　　　　愛知・静岡・岐阜・三重　各県教育委員会
　　　　　　　　（一社）東海水泳連盟

２．後　　援　　（公財）三重県スポーツ協会

３．主　　管　　三重県高等学校体育連盟
　　　　　　　　三重県高等学校体育連盟水泳専門部
　　　　　　　　（一社）三重県水泳連盟

４．協　　賛　　菅公学生服株式会社

５．期　　日　　【競泳】令和７年７月１８日（金）・１９日（土）・２０日（日）
　　　　　　　　【飛込】令和７年７月２０日（日）
　　　　　　　　【水球】令和７年７月１２日（土）・１３日（日）

６．場　　所　　三重交通Ｇ スポーツの杜 鈴鹿 水泳場
　　　　　　　　鈴鹿市御園町１６６９

７．競技方法　　（公財）日本水泳連盟競技規則による。
　　　　　　　　競泳・飛込　　男女別学校対抗
　　　　　　　　水　　球　　予選トーナメント、決勝リーグ戦方式

８．種　　目

（1）競　　泳

種　　目	男　　子	女　　子
自　由　形	50m　100m　200m　400m　1500m	50m　100m　200m　400m　800m
背　泳　ぎ	100m　200m	100m　200m
平　泳　ぎ	100m　200m	100m　200m
バタフライ	100m　200m	100m　200m
個人メドレー	200m　400m	200m　400m
フリーリレー	4×100m　　　4×200m	4×100m　　　4×200m
メドレーリレー	4×100m	4×100m

【競技方法】

１）予選はタイムレースとし、決勝は各１０名（１０チーム）で行い、２名（チーム）の補欠とする。

２）決勝進出において、同記録で定員を超えた場合は、スイムオフを行うため、ただちにリゾリューションデスクに集合すること。但し、自由形 800m・1500m・4×200mフリーリレーは抽選とする。リレー種目のスイムオフは予選競技と同じメンバーが同じ順番で泳ぐこと。

３）競技は予選８レーン・決勝１０レーンとする。
予選において申し込みが３２名を超えた場合はこの限りではない。

（2）飛　　込

男子

ア）　３m飛板飛込　１０演技種目
制限選択飛（難易度合計９．５以内）各群より５演技種目
自由選択飛　各群より５演技種目

イ）　高　飛　込　　９演技種目（６つの群より選択）
制限選択飛（難易度合計７．６以内）異群より４演技種目
自由選択飛　異群より５演技種目

女子

ア）　３m飛板飛込　　９演技種目
制限選択飛（難易度合計９．５以内）各群より５演技種目
自由選択飛　異群より４演技種目

イ）　高　飛　込　　８演技種目（５つ以上の群より選択）
制限選択飛（難易度合計７．６以内）異群より４演技種目
自由選択飛　異群より４演技種目

【競技方法】

決勝のみ行う。
順位の決定は、決勝の得点合計によって行う。

【競泳・飛込競技順序】

競泳

第１日

１	女子	4×100m	メドレーリレー	予選
２	男子	4×100m	メドレーリレー	予選
３	女子	８００m	自　由　形	予選
４	女子	５０m	自　由　形	予選
５	男子	５０m	自　由　形	予選
６	男子	１５００m	自　由　形	予選
７	女子	4×100m	メドレーリレー	決勝
８	男子	4×100m	メドレーリレー	決勝

第２日　開始式

９	女子	4×100m	フリーリレー	予選
１０	男子	4×100m	フリーリレー	予選
１１	女子	２００m	バタフライ	予選
１２	男子	２００m	バタフライ	予選
１３	女子	２００m	背　泳　ぎ	予選
１４	男子	２００m	背　泳　ぎ	予選
１５	女子	４００m	個人メドレー	予選
１６	男子	４００m	個人メドレー	予選
１７	女子	２００m	自　由　形	予選
１８	男子	２００m	自　由　形	予選
１９	女子	２００m	平　泳　ぎ	予選
２０	男子	２００m	平　泳　ぎ	予選
２１	女子	５０m	自　由　形	決勝
２２	男子	５０m	自　由　形	決勝
２３	女子	８００m	自　由　形	決勝
２４	男子	１５００m	自　由　形	決勝
２５	女子	２００m	バタフライ	決勝
２６	男子	２００m	バタフライ	決勝
２７	女子	２００m	背　泳　ぎ	決勝
２８	男子	２００m	背　泳　ぎ	決勝
２９	女子	２００m	自　由　形	決勝
３０	男子	２００m	自　由　形	決勝
３１	女子	４００m	個人メドレー	決勝
３２	男子	４００m	個人メドレー	決勝
３３	女子	２００m	平　泳　ぎ	決勝
３４	男子	２００m	平　泳　ぎ	決勝
３５	女子	4×100m	フリーリレー	決勝
３６	男子	4×100m	フリーリレー	決勝

第３日

３７	女子	4×200m	フリーリレー	予選
３８	男子	4×200m	フリーリレー	予選
３９	女子	１００m	平　泳　ぎ	予選
４０	男子	１００m	平　泳　ぎ	予選
４１	女子	１００m	バタフライ	予選
４２	男子	１００m	バタフライ	予選
４３	女子	１００m	自　由　形	予選
４４	男子	１００m	自　由　形	予選
４５	女子	４００m	自　由　形	予選
４６	男子	４００m	自　由　形	予選
４７	女子	２００m	個人メドレー	予選
４８	男子	２００m	個人メドレー	予選
４９	女子	１００m	背　泳　ぎ	予選
５０	男子	１００m	背　泳　ぎ	予選
５１	女子	１００m	平　泳　ぎ	決勝
５２	男子	１００m	平　泳　ぎ	決勝
５３	女子	１００m	バタフライ	決勝
５４	男子	１００m	バタフライ	決勝
５５	女子	１００m	自　由　形	決勝
５６	男子	１００m	自　由　形	決勝
５７	女子	４００m	自　由　形	決勝
５８	男子	４００m	自　由　形	決勝
５９	女子	２００m	個人メドレー	決勝
６０	男子	２００m	個人メドレー	決勝
６１	女子	１００m	背　泳　ぎ	決勝
６２	男子	１００m	背　泳　ぎ	決勝
６３	女子	4×200m	フリーリレー	決勝
６４	男子	4×200m	フリーリレー	決勝

閉会式

飛込み

男子・女子	高 飛 込	１０：００
男子・女子	３m飛板飛込	１４：００

飛込表彰式

（3）水　　球

【抽選方法】

予選トーナメント

［1］A県の１位 ［5］A県以外の２位	①	③	［3］C県の１位 ［7］C県以外の２位
［2］B県の１位 ［6］B県以外の２位	②	④	［4］D県の１位 ［8］D県以外の２位

決勝リーグ

⑤　①の勝者　対　②の勝者
⑥　③の勝者　対　④の勝者
⑦　①の勝者　対　④の勝者
⑧　②の勝者　対　③の勝者
⑨　①の勝者　対　③の勝者
⑩　②の勝者　対　④の勝者

1）［1］～［4］までを各県１チームにて抽選を行う。
2）［5］～［8］は、１の結果をみて同一県チームが同一ブロックとならないよう配慮して抽選を行う。
3）前年度実績によるシードは行わない。
4）敗者戦を設定する。（リーグ戦における連続出場を避けるため）
5）競技時間は、全国高校総体に準ずる。
6）参加チームが６チームないし７チームの場合は、いずれかの県の１位チームは、抽選により予選トーナメントは不戦勝とする。
7）参加チームが５チーム以下の場合は、総当りリーグ戦とする。

【競技日程】

第１日	第２日
①　予選リーグ	⑦　決勝リーグ
②　〃	⑧　〃
③　〃	敗者戦　①対②
④　〃	敗者戦　③対④
⑤　決勝リーグ	⑨　決勝リーグ
⑥　〃	⑩　〃

９．申込規定

（1）資　　格

①　選手は、学校教育法第１条に規定する高等学校（中等教育学校後期課程を含む）に在籍する生徒であること。ただし、休学中、留学中の生徒は除く。

②　選手は、各県高等学校体育連盟に加盟している学校の生徒で、当該競技専門部に登録し2024年度（公財）日本水泳連盟競技者登録を完了した選手に限る。

③　年齢は、平成18（2006）年4月2日以降に生まれた者とする。ただし、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。

④　チーム編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
⑤　複数校合同チームの大会参加は認めない。ただし、統廃合の対象となる学校については、統廃合完了前の2年間に限り当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
⑥　転校・転籍後1年未満の者は、参加を認めない（外国人留学生もこれに準ずる）。ただし、一家転住等やむを得ない場合は、各県高等学校体育連盟会長の認可があればこの限りではない。
⑦　上記①②に定める生徒以外で、当該競技実施要項により大会参加資格を満たすと判断され、都道府県高等学校体育連盟会長が推薦した生徒について、別途に定める規程に従い大会参加を認める。
⑧　競泳は、地方予選会（県大会）の成績で、各種目８位までの入賞者、および、９位以下であっても日本高等学校選手権大会の標準記録を突破した選手は、主催団体の推薦を経てその種目に出場できる。ただし、決勝における正当な理由のない棄権者の参加は認めない。
なお、男子 1500m自由形・女子 800m自由形については８位までの入賞者、および下記の標準記録を突破しなければ出場できない。
　標準記録　1500m自由形　19：15.00　800m自由形　10：30.00
ア　フリーリレーは個人種目出場者を含め６名（補員２名まで）を申し込むことができる。
イ　メドレーリレーは個人種目出場者を含め８名（補員４名まで）を申し込むことができる。
ウ　リレー種目において、競技の際は個人種目または他のリレー種目に出場する選手に交代させることができる。（全国総体については、この限りではない）
エ　ランキング表及びプログラムの組合せは、県大会における、予選、決勝の良い方のタイムで作成する。
⑨　飛込は、地方予選会（県大会）の成績で各種目８位まで、各県水泳連盟の承認を経て申し込む。
⑩　水球は、各県から２チームまで各県水泳連盟の承認を経て申し込む。
⑪　上記条件を満たした者で、学校長が出場を認めた選手。

（２）制　　限
①　競泳・飛込は１校１種目３名以内、１人２種目以内。（ただし、リレー種目を除く）
②　水球は１チーム監督１名＋引率責任者１名＋選手１３名以内とする。

（３）申込方法（各様式は三重県高体連ホームページにデータ・リンク先があります。）

http://www.mie-koutairen.jp/

「東海総体特集」→「東海総体」→「競技別ページ」→「水泳」
様式①　「競技種目別参加選手一覧表」　各県別に男女各２通
様式②　「学校長出場認知書・学校別出場種目一覧」
　学校別・男女別・種別（競泳・水球・飛込）に各１通
　＊水球の合同チームについては【合同チーム用様式②】で申し込むこと。
様式③　「宿泊申込書」（各学校でＪＴＢの所定の申込方法で申し込むこと。）

https://amarys-jtb.jp/72tokaiswimming-mie/

様式④　「県別・種目別参加選手数一覧」　各県に１通
様式⑤　「県別　参加料・プログラム代金納入一覧表」　各県に１通
（注１）様式①・④・⑤は各県専門部が作成し開催県に提出する。

（注２）様式②・③は参加校が作成し、②は各県水泳専門部へ提出。③は申し込み方法に従い申し込む。
（注３）様式②については男子用・女子用を使用し、水球の合同チームは合同チーム用を使用すること。
（注４）飛込競技種目申込手続について

ダイブシートは所定のものを使用し必要事項を記入の上、当該競技開始時刻の２４時間前までに提出すること。

また、当該競技提出時刻超過後であっても競技開始3時間前までに記録席本部に申し出ることで、審判長厳重注意のもと受け付ける場合がある。なお、各日競技開始3時間３０分前に競技会会場の開門時刻となっていない場合は、開門後３０分間は同様の対応をする。

（4）参 加 料

参加者１人につき 2,000 円を申込みと同時に納入のこと。水球は 1 チーム 20,000 円。
(各県高体連で一括して納入)

（5）申込期限と場所

令和７年７月４日（金）午前１０時（各県高体連委員長が代表し一括して申込む）
三重交通Ｇ スポーツの杜 鈴鹿 水泳場　会議室

１０．選手権校の決定

（1）競　　泳

各種目１位８点、２位７点……８位１点とし、リレー種目は、１位１６点、２位１４点……８位が２点とする。同着の場合は、次の順位を欠位とし、得点は欠位のものを加え等分した得点をそれぞれに与える。得点の最も多い学校を優勝校とし、総合得点が同じ場合は次の順に従って決定する。

① リレー種目による得点の多い学校
② 入賞者数の多い学校（但し、リレー種目は４と計算する）
③ １位の数
④ ２位の数（以下８位までこれにならう）

（2）飛　　込

各種目１位８点、２位７点……８位１点とし、総合得点の最も多い学校を優勝校とする。総合得点が同じ場合は次の順に従って決定する。

① 入賞者数の多い学校
② １位の数
③ ２位の数（以下８位までこれにならう）
④ 当該入賞者の得点の平均点が多い選手のいる学校（平均点は小数第３位を四捨五入し、小数第２位まで算出する。）
⑤ 当該入賞者の得点の内で１種目の最も高い数値を得た選手のいる学校

（3）水　　球
優勝校（但し、リーグ戦で勝ち点が同じ場合は監督会議で決定された方法による）

１１．表　　彰
（1）優勝校に優勝旗と賞状、８位まで賞状を与える。
（2）種目別優勝者に賞品と賞状、８位まで賞状を与える。

１２．宿　　泊
別記要項による。

１３．日本高等学校選手権水泳競技大会への参加資格
本大会における以下の成績の選手またはチームは、高体連および加盟団体の推薦を得て全国大会に出場ができる。なお、全国大会への申込みは、東海高校総体に申込みをした選手に限る。（水球以外）
（1）競　　泳
① 各決勝種目３位までの入賞者、またはチーム。
② 予選、決勝、スイムオフを問わず全国大会標準記録を突破した選手、またはチーム。
同タイムも含む。
（リレー競技の第１泳者および 1500m 自由形の 800m における正式時間は含まない。）
【①、②の確認事項】
注１　都府県大会の記録で出場は認められない。
注２　決勝における正当な理由のない棄権者の参加は認めない。
注３　フリーリレー、メドレーリレーは、東海高校総体において予選・決勝・予選と決勝で出場資格を得たメンバーの中から４名と、別に補員１名を申し込むことができる。ただし、競技の際は個人種目に出場する者と交代させることができる。
注４　全国大会のエントリータイムは、予選、決勝のうち速いタイムとする。
③ 各都府県特別措置
地域大会において全国大会の出場資格を得なかった各都府県は、最低男女各１名を１種目のみ、出場資格者として高体連および加盟団体で推薦することができる。
また、出場資格は男女にまたがっていない場合は、欠けている方について１名１種目の推薦を認める。
注１．推薦は、自由形・背泳ぎ・平泳ぎ・バタフライの 100m・200m および 200m 個人メドレー、50m 自由形の種目で、地域大会において全国標準記録に最も近い記録をマークした者とする。
注２．悪天候（雷・豪雨・暴風）や不測の事態によりレースを中断する場合がある。また、レース時間の繰上げやタイムレース決勝にする場合もある。レースを中止した場合は、各県総体予選の結果をもとに全国大会出場を認める。

○　標準記録（令和７年度）

種目		男子	女子
自由形	５０m	２４．０９	２７．１５
〃	１００m	※　５２．３２	※　５８．５９
〃	２００m	※　１：５３．９４	※　２：０６．８１
〃	４００m	４：０３．２７	４：２６．４１
〃	８００m	――――――	９：１１．１３
〃	１５００m	１６：１４．２５	――――――
背泳ぎ	１００m	※　５８．６４	１：０５．０８
〃	２００m	※　２：０７．９４	２：１９．５６
平泳ぎ	１００m	１：０４．４２	１：１２．８４
〃	２００m	２：１９．２２	２：３５．７１
バタフライ	１００m	５６．０３	１：０２．６８
〃	２００m	２：０４．０５	２：１８．１９
個人メドレー	２００m	※　２：０７．４１	２：２２．０５
〃	４００m	４：３３．４４	５：０２．１１
フリーリレー	４００m	※　３：３５．４７	４：０２．２６
〃	８００m	７：５２．８１	８：４５．９８
メドレーリレー	４００m	※　３：５６．４８	４：２６．１６

（２）飛　込

①　各種目の第１位の選手

②　標準点数を突破した選手（同点も可）

○　標準点数

種目	男子	女子
飛板飛込（３m）	１０演技　２９３．００	9演技　２５６．００
高飛込	9演技　２５９．００	8演技　２３１．００

（３）水　球

優勝校及び２位のチーム

（４）全国大会特別出場措置を適用する場合は各県委員長に申し出る。

１４．開　始　式

（1）日　時　　競泳　令和７年7月１９日（土）午前１０時

水球　令和７年7月１２日（土）午前　9時

飛込　令和７年7月２０日（日）午前　8時４５分

（2）場　所　　競泳・飛込・水球

三重交通Ｇ スポーツの杜 鈴鹿 水泳場

（３）参加者　　各県選手団（スタンドで起立して参加すること）
（水球はプールサイドに整列して参加すること）

１５．監督者会議
（１）日　時　競泳　　　令和７年７月１８日（金）１１時３０分
飛込　　　令和７年７月１９日（土）１５時００分
水球　　　令和７年７月１１日（金）１６時００分

（２）場　所　競泳　　　三重交通Ｇ スポーツの杜 鈴鹿 水泳場
飛込　　　三重交通Ｇ スポーツの杜 鈴鹿 水泳場
水球　　　三重交通Ｇ スポーツの杜 鈴鹿 水泳場

１６．大会期間中の本部
競技開催中　競泳・飛込・水球
三重交通Ｇ スポーツの杜 鈴鹿 水泳場
その他　　　各県水泳専門委員長へ連絡する。

１７．申込記入上の注意事項
（１）楷書で記入し、押印する。
（２）様式②のプログラムに記載する学校名略字は下記の注意事項にならって記入する。
注１．学校名は６文字以内に略して記入する。
（例）愛知産業大学三河高校　→　愛産大三河
愛知みずほ大学瑞穂高校　→　愛み大瑞穂
注２．学校名に地名がついている場合は、地名を略さないこと。
（例）浜北　→　浜松北　　　　四高　→　四日市
注３．高等学校の「高」の字は記入しない。
（例）関高　→　関　　　　　　神戸高　→　神戸
注４．大学付属の学校は「大」を略さない事。
（例）帝京可児　　→　　帝京大可児
（３）様式②の登録団体ＣＤは、従来からの加盟団体番号の２桁と登録団体番号の３桁をつないだ５桁の番号を記入する。

１８．救急処置・貴重品管理
競技中に選手が負傷した場合は、主催者側が応急の処置はするが、その後の責任は負わない。貴重品の管理は各学校で行う事。更衣室は更衣のみとし、ロッカーの占有使用はできません。

１９．その他

（1）　大会期間中の競泳会場の開門は７月１８日（金）８時３０分、７月１９日（土）、２０日（日）７時３０分とする。

（飛込・水球競技・練習プール・控え室利用時間については後日連絡する）

（2）　プログラムは各学校へ監督１部、選手用１部を無料配布とする。それ以上必要な場合は、１部1，０００円とする。

【参加申込と同時に別紙により必要部数と現金を添えて申し込むこと。・・未定】

（3）　令和６年度優勝校は、必ず優勝旗を持参すること。

（本年度不参加の場合は、その該当する県で責任を持って返還すること）

（4）　部旗は各校１枚とし、縦１４０ｃｍ、横２１０ｃｍ程度とする。掲示場所は後日ホームページを通じて連絡をする。

（5）　各県・各学校の控え場所は指定とする（各県委員長の指示）。早朝からの並び、指定場所以外の場所取りはできません。ゴミ処理については、持ち帰りを原則とする。

（6）　会場へのアクセスは各会場地ホームページを参照のこと。

（7）　社会情勢により、出場制限・競技運営・大会運営を変更する場合がある。